

クラウド ストライク ホールディングス A (CRWD)

【セクター】 ソフトウェア

【市場】 NASDAQ

【企業概要】

元マカフィーの技術者らが2011年に創業したサイバーセキュリティ企業です。同社の「Falcon」プラットフォームは、エンドポイントにインストールして不正を検知する軽量なエージェント、これと連携してサイバー攻撃への対応策を提示する脅威インテリジェンス、また、脅威ハンティングのサービスなどからなります。2020年1月末の顧客は5,431社となり、「フォーチュン100」のうち49社、グローバル企業トップ100社のうち40社、大手銀行トップ20行のうち11行が含まれています。2019年6月12日にNASDAQ市場に新規上場しました。

【業績】（単位：売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

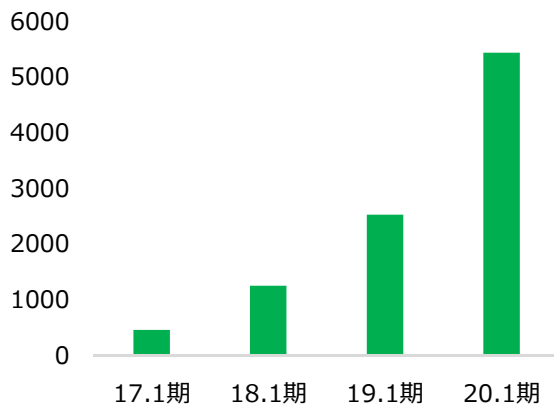
決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
19年1月期	250	-	-	-	-	-	17.2
20年1月期	481	-28	-0.42	0.00	3.5	-34.7	52.9
21年1月期予想	823	14	0.08	0.00	4.0	0.0	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

（出所）BloombergデータよりSBI証券作成

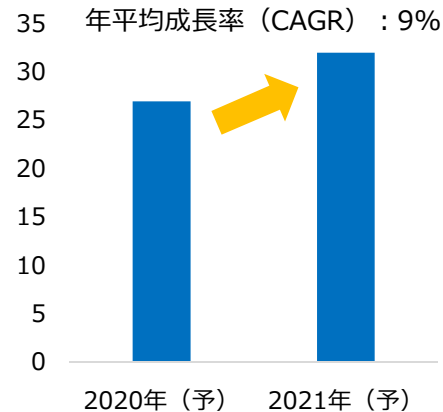
【主要指標】

図表1 サブスクリプション契約顧客数



（出所）会社資料よりSBI証券作成

図表2 最大市場規模（TAM）の見通し（10億ドル）



（出所）会社資料よりSBI証券作成

【会社の見方】

サイバー攻撃に対する防御として、ネットワークへの侵入を防ぐやり方と、エンドポイント（情報端末）で不正な動きを検知するやり方がありますが、標的型の攻撃が増えたことでネットワークへの侵入を完全に防ぐのは現実的ではなく、エンドポイント保護の重要性が増していると言われています。ガートナーが公表した2018年11月付レポートで同社は、エンドポイント保護のプラットフォームを提供する分野でリーダー企業と評価されており、業界で競争力をもつサービスを提供しているとされています。

【見通し・注目点】

これまでの四半期決算では、売上高や粗利益が直線的に伸びる一方で販管費の増加ペースが緩やかになってきていましたが、5-7月期の決算発表では2021年1月期が調整後ベースで黒字になるとの見通しが示されました。また、経営陣は競合他社の動向を含めた市場環境は非常に良好であるとコメントし、長期的な成長に向けた追い風が吹いているとコメントしています。顧客数も加速度的に増加しており、5-7月期の年間経常収益（ARR）は7.91億ドルとなり、そのうち新規ARRは1.04億ドルとなっています。

（SBI証券 投資情報部 中川 潤一）

（更新日 2020/9/7）

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したものです。正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。